

# ウンカ類情報第3号（水稻・トビイロウンカ）

令和4年8月10日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## トビイロウンカが本田で確認されました！

### 1 発生状況

8月9日に実施した水田における臨時調査（10株払い落とし）において、豊田市で雌成虫が1頭捕獲されました。

本年は、トビイロウンカの本県への飛来に適した気象条件が6月25日までに4回（6/15, 6/22, 6/25（2回））出現しており、県内の他の地域にも飛来している可能性があります。

飛来予測日に本県に飛来したと仮定して計算したトビイロウンカの各生育段階の発生予測から、今回捕獲された成虫は6月22日から25日に飛来した群の第一世代成虫であると考えられます（表1）。

なお、近隣県では、静岡県の子察灯4地点において6月第5半旬に合計90頭以上の誘殺が確認されており、三重県においても子察灯で6月第5半旬に誘殺が確認されています。

表1 有効積算温度をもとに計算したトビイロウンカ第一世代成虫期の予測（8月10日計算）

飛来予測日	発育段階	豊田	捕獲日
6月22日	第一世代成虫期	8月3日～8月10日	8月9日
6月25日	第一世代成虫期	8月6日～8月13日	

豊田市のアメダスの平均気温から予測。

8月9日までは実測値を、それ以降は平年値を用いて計算。

### 2 防除対策

トビイロウンカは、地域やほ場により発生状況が異なるため、ほ場内に入って株元をよく観察するなど、本田内の発生に注意してください（図1、図2、図3）。本種の発生が多かった令和2年に大きい被害があった地域やほ場は、本種が飛来しやすい地形である可能性があるため特に注意しましょう。

第一世代及び第二世代の幼虫発生盛期にあたる時期の本田防除が、その後の増殖を抑えるうえで有効となります。防除適期は、各世代の幼虫発生期です。幼虫の成長とともに、薬剤に対する感受性が低下するため、若齢幼虫期の防除が重要です。

6月22日、25日に飛来したと仮定し、県内各地における第二世代幼虫の発生予測時期について有効積算温度をもとに計算しました（表2）。ほ場における発生動向、移植時期及び育苗箱施薬による防除の有無等を考慮し、表3の薬剤を参考に防除を実施しましょう。箱施薬を施用している場合でも、トビイロウンカに効果の高いトリフルメゾピリム、フルピリミンやオキサゾスルフィルを含む箱施用剤を使用していないほ場では注意しましょう。また、本種は株元に生息しているため、粉剤や液剤を使用する場合は、薬剤が株元に十分かかるように散布しましょう。

表2 有効積算温度をもとに計算したトビイロウンカ第二世代幼虫期の予測（8月10日計算）

飛来予測日	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎	新城	稲武	蒲郡	豊橋	伊良湖
6月22日	8月18日 ～31日	8月14日 ～27日	8月16日 ～28日	8月17日 ～30日	8月19日 ～9月1日	8月17日 ～30日	8月18日 ～31日	8月23日 ～9月9日	8月16日 ～29日	8月13日 ～25日	8月13日 ～25日
6月25日	8月21日 ～9月3日	8月17日 ～30日	8月18日 ～30日	8月20日 ～9月2日	8月22日 ～9月4日	8月19日 ～9月1日	8月21日 ～9月4日	8月29日 ～9月17日	8月19日 ～9月1日	8月16日 ～29日	8月17日 ～30日

各地のアメダスの平均気温から予測。

8月9日までは実測値を、それ以降は平年値を用いて計算。

表3 ウンカ類に対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード
トレボン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	3 A
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤			
スタークル液剤10	収穫7日前まで	3回以内	4 A
スタークル/アルバリン粉剤DL			
エミリアフロアブル*	収穫7日前まで	2回以内	4 F
エクシードフロアブル			
エクシード粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	4 C

成分ごとの総使用回数に注意する。

\*7L<sup>o</sup>リシを含む農薬の総使用回数：3回以内（但し、直播での種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、[https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/2021/mechanism\\_irac03.pdf](https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/2021/mechanism_irac03.pdf)を参照する。

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。



図1 トビイロウンカ成虫（長翅型）



図2 トビイロウンカ幼虫



図3 株元に群がるトビイロウンカ幼虫